公益財団法人京都市生涯学習振興財団

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 松本紘

2 所在地

京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2

3 電話番号

075-802-3141

4 ホームページアドレス

http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asnyl/top.html

5 設立年月日

昭和56年3月16日

6 基本財産

80,000 千円 (うち本市出えん額 80,000 千円, 出えん率 100.0%)

7 事業目的

京都のもつ歴史と文化を生かした生涯学習事業を推進し、生涯学習の振興を図るとともに、京都市における教育と文化の発展に寄与すること。

- 8 業務内容
 - (1) 講座, 講演会及びその他の催しの開催
 - (2) 体験活動事業等の実施
 - (3) 生涯学習情報の収集及び提供等
 - (4) 博物館等における展示事業の実施
 - (5) 生涯学習施設における貸館事業
 - (6) 生涯学習のための図書及び資料等の購入・収集・貸出・返却、参考業務及び読書推進事業の 実施
 - (7) その他公益目的を達成するために必要な事業
- 9 所管部局

教育委員会生涯学習部施設運営担当(TEL075-801-8822)

- 10 役員名等
 - (1) 理事長

松本紘

(2) 副理事長

若林卯兵衛, 武田道子

(3) 専務理事

中村公紀

(4) 理事

奥野美奈子,加藤法生,久村剛史,榊原吉郎,染川香澄,谷村仁志,仲田雅博,永田萠,横山俊夫,在田正秀(教育長)

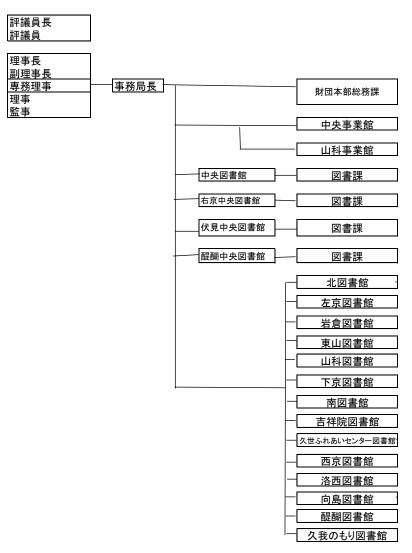
(5) 監事

丹波寬志, 東元彦(教育委員会総務部長)

11 常勤職員数

215人(うち本市派遣職員16人)

12 組織機構



第2 経営状況

- 1 平成 30 年度決算
 - (1) 事業報告
 - ア 財団事業
 - (ア) 生涯学習総合センター(京都アスニー)
 - a 講座,講演会及びその他の催し

事業名	講座数	事業回数	延べ受講者数
アスニーセミナー	62	215	10, 801
アスニーナイトプログラム	1	1	211
アスニーアトリエ	62	1,031	12, 775
アスニーコーラス	8	346	14, 272
アスニーコンサート	12	12	4, 032
アスニー「京都学」講座	27	27	2, 995
アスニー文化祭	1	1	4, 722
合 計	173	1, 633	49, 808

- b 文化誌等の発行及び友の会の運営
 - (a) 「創造する市民」の発行(第111号1,600部,第112号1,600部発行)
 - (b) 生涯学習講座案内「まなびすと」の発行

(c) 友の会「京都まなびすと」の運営(会員 786 人)

(イ) 生涯学習総合センター山科 (アスニー山科)

事	業	名	講座数	事業回数	延べ受講者数
アスニー・アト (気軽に楽しんて		が実技講座)	39	281	3, 618
アスニー・アト (技能習得をめさ		<u>~</u>)	48	181	993
アスニーコーラ	ス山科		3	117	7, 431
アスニー山科文	化祭		1	2	1, 231
合		計	91	581	13, 273

イ 受託事業

京都市生涯学習総合センター(京都アスニー),京都市生涯学習総合センター山科(アスニー山科)及び各京都市図書館

(ア) 講座, 講演会等

事	業	名	講座数	事業 回数	延べ受講者数
生涯学習総合せ	アンター(京都アスニ	.—)			
古典の祭典	其 2018		1	1	534
ゴールデン	/・エイジ・アカデ	Ţ	46	46	18, 747
視聴覚セン	ノター事業		37	38	9, 780
	F京都のキセキを歩っ フォーク講座	</td <td>1</td> <td>2</td> <td>45</td>	1	2	45
	ミアン達の悲恋物調「ラ・ボエーム」セック		1	1	322
小		計	86	88	29, 428
生涯学習総合も	アンター山科(アスニ	一山科)			
学びのフォ	トーラム山科		43	43	10, 065
ゴールデン	/・エイジ・アカデ	ミー同時中継	46	46	2, 465
アスニーシ	/ネマ山科		12	24	1, 494
クールスポット夏休み子ども教室		2	2	29	
クールスポット子ども映画会		2	2	56	
小		計	105	117	14, 109
図書館(※)		494	1, 452	56, 595	
合		計	685	1, 657	100, 132

- (※) 深草図書館及びこどもみらい館子育て図書館分を含む
- (4) 生涯学習情報発信事業の取組(京都アスニー)
 - a 生涯学習情報コーナー
 - b インターネットのホームページによる情報発信
- (ウ) 古典の日記念 京都市平安京創生館の運営 入館者数:91,761人

- ウ 共催事業(公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所等との共催)
 - (ア) 古典の日記念 京都市平安京創生館企画展示 発掘調査成果写真展 「発掘調査成果写真展 2017」「発掘調査成果写真展 2018」(京都市, 埋文研)
 - (4) 京都市中途失明者点字講習会 (京都府視覚障害者協会)
 - (ウ) 古典の日記念 京都市平安京創生館企画展示「京都の祭り行事」 (京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会)
 - (エ) 関西考古学の日 2018 記念講演会「いのり かなえ たまえ 宗教考古学事始 」 (埋文研等)
 - (オ) 京都市考古資料館文化財講演会「新視点 北山殿・金閣寺 南池跡の調査成果から 」 (京都市考古資料館)
 - (カ) 京都のやすらい花(京都市文化観光資源保護財団)

エ 施設の利用状況

(ア) 生涯学習総合センター, 生涯学習総合センター山科

	利用回数
京都アスニー研修室等	6, 370
視聴覚センター	830
アスニー山科研修室等	3, 746
合 計	10, 946

(イ) 図書館

(※) 深草図書館及びこどもみらい館子育て図書館分を含む

	利用回数(貸出人数,回数)	冊数(点数)
個人貸出	2, 417, 660	7, 541, 008
団体貸出	6, 326	53, 611
在宅貸出	3, 391	7, 273
予約件数	_	1, 909, 140
参考業務	48, 657	_

(2) 財務諸表

貸借対照表

平成31年3月31日現在 (単位:壬四)

			(単位:千円)
科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	259	0	259
小口現金	31	8	23
普通預金	195, 348	196, 450	
未収金	569	473	96
棚卸資産	2,618	1, 869	749
商品券	2,010	2	0
仮払金	1, 720		676
前払金		1, 045	91
	1, 210	1, 118	
繰越税金資産 (流動)	0	1, 415	$\triangle 1,415$
流動資産合計	[201, 758]	[202, 380]	[△622]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	40,000	40,000	0
投資有価証券	40,000	40,000	0
基本財産合計	(80,000)	(80,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	187, 061	210, 049	△22, 988
退職給付引当投資有価証券	267, 980	267, 980	0
駐車場積立資産	21, 115	18, 915	2, 200
久我の杜生涯学習プラザ運営基金引当預金	0	22, 223	$\triangle 22,223$
運営基盤整備積立資産	9,000	0	9,000
周年事業積立資産	300	0	300
特定資産合計	(485, 456)	(519, 167)	(△33,711)
(その他の固定資産)	(100, 100)	(010, 101)	(200, 111)
建物付属設備	2,032	2, 390	△358
構築物	1, 755	1, 995	
		4, 370	
電話加入権	2, 212		$\triangle 2, 157$
	5, 812	5, 812	0
商標権	147	169	$\triangle 22$
繰延税金資産(固定)	3, 483	2, 208	1,274
その他固定資産合計	(15, 441)	(16, 944)	$(\triangle 1, 503)$
固定資産合計	[580, 897]	[616, 111]	[△35, 214]
資産合計	782, 655	818, 491	△35,836
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	124, 176	128, 207	△4, 030
未払法人税等	1, 135	520	
未払消費税等	14, 647	18, 916	$\triangle 4,269$
前受金	2, 852	2, 937	△86
預り金	8, 559	8,805	$\triangle 245$
賞与引当金	65, 520	64, 328	1, 192
流動負債合計	[216, 889]	[223, 713]	$[\triangle 6, 824]$
2. 固定負債			
退職給付引当金	455, 041	478, 029	△22, 988
固定負債合計	[455, 041]	[478, 029]	$[\triangle 22, 988]$
負債合計	671, 930	701, 742	△29, 812
Ⅲ.正味財産の部	-,		
1. 指定正味財産			
京都市出資金	30,000	30,000	0
京都市寄付金	50,000	50, 000	ő
指定正味財産合計	[80,000]	[80,000]	(0)
(うち基本財産への充当額)	(80,000)	(80,000)	
	(00,000)	(00,000)	(0)
2. 一般正味財産	[20 704]	[26 740]	[
一般正味財産合計	[30, 724]	[36, 749]	$[\triangle 6,025]$
(うち特定財産への充当額)	(30, 415)	(41, 138)	$(\triangle 10, 723)$
正味財産合計	110, 724	116, 749	$\triangle 6,025$
負債及び正味財産合計	782, 655	818, 491	$\triangle 35,836$

正味財産増減計算書

平成30年4月1日~平成31年3月31日

(単位:千円)

			(単位:十円)
科	当年度	前年度	増減
Ⅰ. 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	294	298	$\triangle 5$
特定資産運用益	600	600	$\triangle 1$
事業収益	74, 311	74, 735	$\triangle 424$
受取補助金等	1, 556, 018	1, 540, 924	15, 094
雑収益	1, 703	1,501	202
経常収益計	1, 632, 925	1, 618, 059	14, 866
(2) 経常費用			
振興事業費	45, 730	45, 907	$\triangle 177$
受託事業費	1, 548, 846	1, 556, 780	△7, 935
サービス事業費	19, 979	19, 574	406
生涯学習施設基金交付金	22, 224	501	21,724
管理費	896	924	△28
経常費用計	1, 637, 675	1, 623, 686	13, 990
当期経常増減額	△4, 750	△5, 626	876
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	0	△0
経常外費用計	0	0	△0
当期経常外増減額	0	$\triangle 0$	0
税引前当期一般正味財産増減額	△4, 750	△5, 626	876
法人税,住民税及び事業税	1, 135	520	615
法人税等調整額	140	1, 435	△1, 294
当期一般正味財産増減額	△6, 025	△7, 581	1,556
一般正味財産期首残高	36, 749	44, 330	△7, 581
一般正味財産期末残高	30, 724	36, 749	△6, 025
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	294	298	$\triangle 5$
一般正味財産への振替額	△294	△298	5
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	80, 000	80,000	0
指定正味財産期末残高	80, 000	80,000	0
Ⅲ. 正味財産期末残高	110, 724	116, 749	△6, 025

2 令和元年度事業計画

- (1) 事業計画の概要
 - ア 京都市生涯学習総合センター事業の実施
 - (7) 財団自主事業
 - a アスニー文化祭~学びとふれあいの広場~の実施
 - b アスニー山科文化祭の実施
 - c アスニーセミナー
 - d アスニーアトリエ
 - e アスニーコーラス
 - f アスニーコンサート
 - g 京都通の文化誌「創造する市民」の発行
 - h その他
 - (イ) 受託事業(京都市からの委託を受けて実施)
 - a 古典の祭典 2019 の開催
 - b 京都市平安京創生館の運営
 - c ゴールデン・エイジ・アカデミー
 - d アスニー京都学講座
 - e 学びのフォーラム山科
 - f 視聴覚センター事業
 - g アスニーこどもコンサート・キッズシネマ
 - h アスニーシネマ
 - i バリアフリー映画会
 - j 文化庁移転関連事業
 - k その他
 - (ウ) 貸館事業
 - (エ) 情報発信

イ 図書館事業の実施

- (ア) 一層身近な図書館となるよう利便性の向上に努める取組
 - a 開館日・開館時間の拡充を踏まえた利用増の取組
 - b 京都市図書館情報網「京・ライブラリーネット」の充実
 - c 資料の取寄せ、返却ポストの設置及びブックメール巡回等の取組
 - d だれにでもやさしい開かれた図書館としての取組
 - e 隣接自治体との図書館相互利用の実施及び他の図書館との連携
 - f 京都大百科辞典的図書館機能の充実
 - g ブックリサイクル
 - h 図書館情報誌「京図ものがたり」等の発行
- (4) 読書活動の推進に向けた図書館を活用した生涯学習推進事業
 - a 「第4次京都市子ども読書活動推進計画」に基づく学校との連携事業
 - b ブックスタート関連事業
 - c 学校図書館充実に向けた支援
 - d 「子ども読書の日」記念事業
 - e 読書週間記念事業
 - f 図書・資料の特設展示
 - g 文化庁移転を踏まえた文化芸術事業
 - h 地域の特色に応じた取組
 - i 他団体と連携した取組

- (ウ) その他
 - a 図書館ボランティアの養成・導入
 - b 図書館実習,研修等への協力
- ウ その他の事業

駐車場の運営、自動販売機による飲料水の販売ほか

(2) 予算

正味財産増減予算書 平成31年4月1日~令和2年3月31日

(単位:千円)

		1	(単位:十円)
科目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	293	287	6
特定資産運用益	598	600	$\triangle 2$
事業収益	69, 122	73, 900	△4,778
受取補助金等	1, 580, 719	1, 552, 408	28, 311
雑収益	1, 950	1, 150	800
経常収益計	1, 652, 682	1, 628, 345	24, 337
(2) 経常費用			
振興事業費	45, 320	44,717	603
受託事業費	1, 642, 430	1, 596, 505	45, 925
サービス事業費	20, 716	20, 205	511
生涯学習施設基金交付金	0	501	△501
管理費	1, 146	1, 140	6
経常費用計	1, 709, 612	1,663,068	46, 544
当期経常増減額	△56, 930	\triangle 34, 723	△22, 207
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税,住民税及び事業税	2, 500	2, 200	300
当期一般正味財産増減額	△59, 430	△36, 923	△22, 507
一般正味財産期首残高	67, 277	44, 330	22, 947
一般正味財産期末残高	7, 847	7, 407	440
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	293	287	6
一般正味財産への振替額	△293	△287	△6
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	80, 000	80,000	0
指定正味財産期末残高	80, 000	80,000	0
Ⅲ. 正味財産期末残高	87, 847	87, 407	440

(参考1) 財務状況の推移

(単位:千円)

		H28(決算)	H29(決算)	H30 (決算)	R1(予算)
	経常収益	1, 596, 545	1, 618, 059	1, 632, 925	1, 652, 682
正味財産増減計算書	当期経常増減額	3, 162	△5, 626	△4, 750	△56, 930
	当期正味財産増減額	886	△7, 581	△6, 025	△59, 430
	総資産	781, 636	818, 491	782, 655	
貸借対照表	総負債	657, 306	701, 742	671, 930	
	正味財産	124, 330	116, 749	110, 724	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位:千円)

		H28(決算)	H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (予算)
委託料	生涯学習事業の実施	1, 515, 369	1, 540, 806	1, 556, 018	
補助金	各種講座・講演会等事 業補助	2, 887	118		

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

1 // B/M/CS 0/L	
財務面	経常収支はマイナスであるが、久我の杜生涯学習プラザ運営基金の京都市への返還分を除けば、収支は黒字に転じている。緊急性等の精査により経費が抑制できており、経常収支が実質改善している。
事業面	・ 生涯学習総合センターでは、平安京復元模型の全容展示を機とした平安京 創生館を生かした取組が積極的に行われているほか、「明治維新 150 年」事 業をはじめ、京都市各局等とも連携し、各事業の発信力を高めた取組が実施 できている。 ・ また、図書館では図書館システムの更新や子ども読書活動推進のための各 種取組など利便性の向上を図るとともに図書館・読書に親しんでいただける 魅力ある取組が推進できている。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 平成30年度の当期正味財産増減額の赤字は、久我の杜生涯学習プラザ運営基金の本市への返還が大きな要因である。ただし、従来から赤字決算の年度が多く、自主事業による収入確保や経費節減に努めることで財務体質を安定させ、早期に黒字回復を目指していく必要がある。
事業面	本市委託事業である京都市生涯学習総合センター及び図書館の運営について積極的な事業展開を行っている。今後も市民に対する生涯学習機会提供の継続とさらなるサービス向上に取り組むことが重要である。